

ORICNEWS

翔飛 ひこめしり

No.2 (2003.10)



- 目次 -

入居者から	2
研修・交流会活動	2
入居者の活動・トピックス	6
入居企業の紹介	7
今後の展示会・イベント情報	8
入居案内	8

撮影風景：インタロボット俵にて
(石井知事と桂梅園治さん)

入居者から

「ORICの飛翔について」

(有) T・I研究所代表取締役 高島 征助

わが社は「ORIC」のオープニングと同時に入居したので、この9月末で5ヶ月が経ったことになる。元々、私は平成6年12月6日に、このリサーチパークに開所した岡山大学地域共同研究センターの専任教員であり、定住者第1号である。その当時、現在のテクノサポート岡山は建設中であり、他は何もないという謂わば岡山リサーチパークの創世記であった。それから9年の月日が流れ、今回「ORIC」の開所を迎えた。入居企業の業務内容は「明日」を目指すものであり、漸く「リサーチパークの本来の目的 - 未来への飛翔」への離陸準備が整った段階に到達できたことを実感する。永年岡山リサーチパークを見続けたきた私はこのリサーチパークにある岡山大学地域共同研究センター、岡山工業技術センターという公的研究機関と「ORIC」の入居企業との間でより濃密な交流が重要であるし、その雰囲気のある醸成が必要と考えている。一朝

一夕には行かない面もあるが地域の限られた人的、技術資源を最大限活用しようということがリサーチパーク設立の理念であり現時点で優れた実績を上げている地域の運営方法を学び、優れた点を取り入れることで、産・官・学の連携が更に進み、岡山リサーチパーク全体が更に発展することを切に願っている。その際、行政面のサポートも不可欠であることは言を待たない。折角、「ORIC」が開設されたのである。ここから『岡山発の新技术』を発芽させる為には、岡山リサーチパーク全体で一丸とならなければならないと考える。その際、私にできることがあれば、微力ながらお手伝いをさせていただきたい、また、ともに飛翔したいと思っている。

(高島氏は、現在、岡山大学医学部客員教授、岡山県立大学大学院客員教授も兼務。)

研修・交流会活動

第3回 OIAセミナーの開催

第3回岡山インキュベータ協議会(OIA)主催のセミナー及び名刺交換会が、7月15日



「ビジネスプランの作り方」

(火)に当センターで行われました。セミナーでは、自社の事業のより深い理解や計画に熟度を上げ、内外の理解を得て資金や協力を取付けるためには不可欠な「ビジネスプランの作り方」について、三菱総合研究所ベンチャー支援事業部長 内海 和夫 氏(当センターの非常勤インキュベーション マネージャー)より講演がなされました。聴講者の中にはこの話を聞いておれば、入居審査の事業計画書が、もっとしっかりと作成できたのにとの感想を述べる方も多く、有益な講演内容でした。

第4回 OIAセミナーの開催

「ITビジネスの動向と今後のビジネスチャンス」



また、8月11日は、ペルル(有)代表取締役 光井 将宇 氏から「ITビジネスの動向と今後のビジネスチャンス」というテーマで講演がなされ、「ブロードバンド・インターネットの時代に入り、Webを単なる情報発信から、双方向のコミュニケーション・ツールとして利用することで、新しいビジネスの可能性がみえてくること。その中で ITのビジネスチャンスのヒントや今後のビジネスの方向性について」判り易い説明がなされました。

ORICの入居者交流会 (Luncheon Meeting)

事業紹介

月に一度、昼食を取りながら、ORICのスタッフや入居者の親睦と相互に事業を理解しあうために、入居者の事業紹介を行っております。7月15日にはランデス(株)、(株)ファイマテックと8月11日にはアスクラボ(株)とインタロボット(株)、9月18日には(株)バイオ・バンク及び(株)ユニオン・インフォ・テクノロジーの紹介がありました。各々、説明ではパワーポイントを利用し、わかり易く各社の事業の紹介をしていました。現在、お互いの業務上の相談や、入居者間での仕事の委託、業務提携等が一部で始まっています。

スタッフルームとしても入居者の事業成長



の糧になるネットワーク構築を手伝うために、同業種はもちろんのこと、IT分野ものづくり分野での、多様な入居者の交流がもっと深まるように工夫をしていきたいと考えています。

産学連携

大学の紹介・・・岡山大学地域共同研究センターの紹介

9月18日の入居者交流会は、入居者が大学の「知」をどう活用できるかということで、ORICのすぐ隣にある岡山大学地域共同研究センターの専任助教授の藤原 貴憲助教授を招いて、「岡

山大学を活用して頂くために」のテーマでわかりやすい説明がなされました。入居者の産学連携を更に進める上での案内になり、岡山大学地域共同研究センターが一層身近になりました。

中国大連市との交流

本年3月18日に中国大連市において開催された、岡山県主催の「ベンチャー企業誘致セミナー in大連」を受けて、岡山県と中国大連市との経済交流を更に深める為に、大連市訪問団（11名）が8月20日に来岡し、ナカシマプロペラ（株）、岡山県の青井商工労働部長を訪問するとともに、当インキュベーションセンターに来所しました。

当日は19時から岡山県主催の歓迎会が開かれましたが、当センターから3月の大連でのセミナーにも参加し、日中のビジネスの架け橋をめざしている中国長春市出身の（株）ユニオン・インフォ・テクノロジーの李森氏とセンター長の松尾が参加しました。和やかな交流の中で、大連氏ミッション団長の張克（ZHANG KE: 大連ハイテク産業園区管理委員会 副主任）から大連ソフトウェアパークと岡山のインキュベーションセンターとの施設間の交流を深めたいとの

話がありました。

大連市との交流の中で、入居企業がさらに発展するとともに、入居企業はもとより、岡山県内の企業が、中国とのビジネスに際して、当センター入居の（株）ユニオン・インフォ・テクノロジーを活用し、スムーズな事業展開と一層の飛躍につながることを期待したい。



中国華東地域ベンチャー企業交流ミッション参加

上海、杭州など華東地域のベンチャー企業との交流増進を目的とし、岡山県商工労働部青井賢平部長を団長、おかやまインキュベータ協議会中島博代表を副団長とするミッションが中国華東地区を訪問しました。県内企業、（財）岡山県産業振興財団、日本貿易振興会（JETRO）等から21名が参加し、ORICからは北原拓也インキュベーション マネージャーが参加しま

した。

9月2日に着後、上海市ハイテク・ビジネス・インキュベータ・ネットワーク（26組織に1331社が入居）との協力、連携協定の調印式を行い、翌3日には上海市のインキュベーション施設を見学、インキュベータ・ネットワークとのワークショップ、同行企業の商談会を、更に4日にはお隣の杭州を訪問し、上海地区情報産業ベンチャー聯誼会（略称：3Min Club）との交流や商談会を行い、5日に帰国しました。

お会いしたベンチャーの企業は活気に溢れ、いずれも日本企業との交流、協業を望んでいました。日本側参加企業の商談もいくつか進み、手応えがあったようです。

今回の連携協定は入居者の新規ビジネス創出に向けた協力促進、相手国側での施設入居や業務展開、研究開発のサポートなど下記の5項目あります。



目標は、双方のインキュベータの交流を通じて、両国の科学技術の創業、インキュベーション、科学技術成果の商用化、産業化を促進し、両地域の産業振興と経済発展を目指すことで、以下の取組みを行います。

- 1 .インキュベータ入居企業の入居した国における技術提携、資本参加のパートナー探し等、協力可能な分野での各種サポート。
- 2 .相手国での業務展開を希望する企業のサポートと、双方のインキュベータへの相手国企業の入居。

- 3 . 中国にいる日本人留学生起業家、日本にいる中国人留学生起業家へのインキュベーション・サービスの提供と、インキュベータへの入居。
- 4 . 相手国の企業の R&D(研究開発) 機関の進出へのサポート。
- 5 . 双方のインキュベータの活動に関する情報の交換。

今回の連携で、CRIC入居者の事業拡大が促進される事を期待したい。

岡山・香川ベンチャーブリッジ事業（第一号） ベンチャー企業研修交流会の開催



10月2日、当インキュベーションセンター交流サロンで、岡山・香川のベンチャー企業研修交流会が開催されました。7月28日の石井県知事と真鍋県知事との両県知事会議で両県が協働して両県のベンチャー企業の活性化や支援の事業を行うことが決まり、その第1号として、本研修交流会が、両県、(財)岡山県産業振興財団、(財)かがわ産業支援財団とおかやまインキュベータ協議会の主催で行われました。参加企業は35社で、参加者数は68人と多数の方々の参加を得ました。

基調講演は、「頑張れベンチャー」というテーマで、多摩大学教授、日本ベンチャー学会

副会長他の要職を兼ねる那野比古氏から行われました。永年にわたり、ベンチャー企業を指導・育成してきた経験にも裏打ちされた「ベンチャー企業経営で心がけるべきこと」で説明された「No Sale, No Job」との販売の重要性、「尊敬しあえる人とのグループづくり」の重要性、「製品と商品の違い」等のアドバイスは明快で説得力がありました。

その後、参加者による事業紹介、懇親会が催されました。今回の研修交流会は環瀬戸内海の両県のベンチャー企業や支援機関相互の交流の第一歩で今後更に交流を深めていく中で、企業連携、支援連携を進めて行くことが大切です。今回の研修交流会は同日夜のTVニュースでも紹介されました。

ベンチャーブリッジ事業の第2号は10月21日(火)、22日(水)に催される「ビジネスマッチング in 香川」です。参加の受付は10月10日まで行っています。



お問合せ先 (財)かがわ産業支援財団
香川新事業サポートセンター
TEL : (087)840 - 0391

入居者の活動・トピックス

(株)メレック、 東京ビッグサイトに出展

(株)メレックは7月30日から8月1日の3日間東京ビッグサイトで開催された「e-Learning WORLD 2003」に事業パートナーである韓国のLiztech社と共同で出展しました。約200社が出展、約27,000人が来場。同社は「本当に伝えたい、教えたい事を電子教材に!」と、簡単操作で映像・音声・手書き情報を講義コンテンツにするオーサリングソフト「MST」を出展しました。このソフトは、教室での授業の際、説明に合わせて黒板に図や文章を書くように、作成者が音声による解説を進めながら、音声説明に同期して、画面上に手書きコメント(強調、補足説明)を再現する事が出来るなど教室講義のスタイルに忠実なコンテンツを作成することが出来るのが特長です。併せて、運営・成績管理・

受講管理等のための運用ソフト「MSTelMS」、インターネットで何処からでもアクセスできるリアルタイム遠隔授業方式の「LiveClass」を出展しました。國富社長以下6人とLiztech社の4人で大勢のブース来訪者に対応されました。メレックは、パッケージ売り(お客様が一式買取)とASP売り(システムは同社で用意し、お客様は使ったときにその都度使用料を支払う。導入時一時金を抑えることが出来る。)のいずれにも対応し、多様な顧客ニーズに応えています。参加した鈴木主任によると、他の出展企業の展示内容から市場動向が判り、ブース来訪者の方々からの話でより詳細なユーザーニーズが判るなど、大きな手応えがあったそうです。この出展から具体的商談も発生しており、更に、10月29日から31日まで、同じくビッグサイトで開催の「岡山テクノプラザ'03」にも出展予定で、現在、商談フォローと同時に出展準備を進めておられます。

石井知事と共演!!

- インタロボット(株)、
シックス(株)、(株)メレック -

7月2日に県政広報テレビ番組の撮影がORICにて行われました。石井知事と桂梅團治さん(倉敷市出身・落語家・おかやま晴れの国大使)の対談番組で身近になったITの取組みについて紹介されました。

そこで、今回ORIC入居企業からIT関連の事業を行っている次の3社が取材撮影されました。インタロボット(株)ではITを活用したコミュニケーションロボットが紹介され、シックス(株)ではORICと同社の東京支店を結び、eKAIGI(ウェブ会議システム)を実際に体験している様子が撮影されました。

(株)メレックでは、ORICにて研究・開発さ



れているe-learning(遠隔教育システム)について、紹介されました。

なお、この番組は晴れの国おかやま特別番組みんなでチャレンジ!夢づくり「チャレンジ!ITで快適生活」と題され、8月2日に放送されました。(OHK岡山放送)

入居企業の紹介

F S Kの事業は、生産管理、販売管理システムからウェブシステムまでの受託システム開発から、ネットワーク設計・構築、システムの運用支援まで、幅広い範囲をカバーしています。この2～3年、特に力を入れているのは、保育園支援システム「うちの子どこかな」事業です。「うちの子どこかな」は福崎社長の子供さんが保育園児だったとき、「いったい自分の子供は保育園でどんなことをしているのだろう」と思ったことから始まったそうです。すぐに画像通信、音声配信技術の研究を始め、平成12年に岡山情報ハイウェイでの実証試験を行い、翌年のベンチャープラザ岡山に出展、平成14年には岡山県の経営革新の指定を受けています。

「うちの子どこかな」はインターネットを通じて、保護者へ幼稚園での活動状況の画像配信から、園行事、イベントの写真販売など付帯サービスの充実を図っています。一方、同社は、保護

有限会社エフ・エス・ケイ

者だけでなく、子供をとりまくコミュニティを視野に入れ、今年4月から、無料サービスで、子育て支援サイトとメルマガ運営を始め、保護者のネットワーク、保育士さんのネットワークでの支援に踏み込んでいます。同社の動きは8月12日の山陽新聞に「保育士にメルマガ配信：子供への接し方や遊び方など、クラス運営に携わる保育士を側面支援。保護者向けメルマガもある。いずれも会員制で利用料は無料。」と報道され、記事を見た保育園関係者からの問い合わせが増えています。保護者や保育士さんのネットワーク支援は、いずれも会員募集中ですので、是非ご参加下さい。

厚生労働省は来年度モデル事業として子育て支援策に取り組む自治体を資金面で支援することを決めており、子育てしやすい街づくりの必要性は大きくなって来ています。今後のF S Kの活躍が期待されます。

シックス株式会社

eKAIGIという名前でウェブ会議システムを事業化しているシックス(株)は、2000年に設立、岡山に研究開発と販売拠点をもち、東京にも販売拠点を設けて、事業活動を行っています。ピア・ツー・ピアの2地点間のTV電話型のシステムとは異なり、eKAIGIシステムは、多地点からスムーズな動画と音声でTV会議システムに参加出来ます。TV会議に参加するパソコン側には難しいインストール作業は不要で、ウェブ・ブラウザを使い、ホームページを見る感覚で簡単・手軽にTV会議が出来るのが魅力です。例えば、会議通知を事前にメールし、当日その時間になると画面に呼び出しメッセージを出して会議開始を知らせたり、会議での合意事項を確認するための議事録やホワイトボードを会議画面上で共有する事が出来、誤解の無い、効率的な会議運営が可能になります。

eKAIGIの新しい使い方にも挑戦しており、岡

山理科大学とタイアップし、県内の高校7校と岡山情報ハイウェイ経由で接続し、遠隔授業の実施に使用している。また、同大学の卒業研究発表の際には、学外の関係者からの説明や質問を受けるために、シックス社の多地点TV会議の環境を使用しています。

現在、同社は、このウェブ会議システムから一歩進めて、コミュニケーションのバリアフリー化に取り組んでいます。例えば、動き回る事が不自由な介護施設のおじいちゃん、おばあちゃんと、東京、岡山にいる家族(子供や孫たち)が、パソコンとインターネットでeKAIGIシステムを利用し、ネット上で集まり、語りあうといった、ウェブ・コミュニケーション・システムの実現に向けて、開発をしています。TV電話とは一味違う同社のeKAIGIは同社のホームページにデモが掲載されています。一度アクセスしてみてください。

今後の展示会・イベント情報

地域ベンチャープラザ (in2003岡山どてらい市)

ベンチャー企業の新製品PRのために、全国有数メーカーの製品が集まる「2003岡山どてらい市」が開催されます。

工作機械・産業機器・機械工具・住設建材・生活関連などの定番商品から新商品まで実際に手にとって見ることの出来るメーカー品の展示即売会です。

開催日：平成 15年 10月 25日(土)、
26日(日)、27日(月)。

場 所：コンベックス岡山 中展示場

今回 ORIC入居企業からは(株)バイオバンクが展示出展する予定です。

岡山テクノプラザ '03 in東京ビックサイト

(財)岡山県産業振興財団主催により「岡山テクノプラザ '03」が平成 15年 10月 29日(水)、30日(木)、31日(金)に東京ビックサイトにて行われます。

優れた新技術、新商品及び新サービスを持ちながらも、ユーザーや投資家の集積の厚い東京での販路開拓等が困難な状況にある県内のベンチャー企業や中小企業を対象に、商品の展示説明や商談の場、資金・技術・経営面等様々なビジネスパートナーとの出会いの場を設けます。

今回 ORIC入居企業からは、インタロボット(株)、シックス(株)、(株)メレック の3社が出展する予定です。

入居者募集中！！

ORICでは、意欲と能力にあふれたベンチャー企業の入居を募集しています！！

随時、入居のご相談に応じていますので、ご連絡下さい。

<施設使用料>

施設区分	面積	部屋数	使用料の月額
研究室小	約 25 m ²	22	45,000 円
研究室中	約 50 m ²	30	88,000 円
研究室大	約 100 m ²	6	175,000 円

・入居後3年間は、更に1/2減免の制度もあります。

・複数室の利用も可能です。

<募集概要>

対象：情報通信や、ものづくり分野を中心に
新技術・新製品の開発、創業を目指す個人・グループ・企業。

期間：3年以内(再申請もできます)。

審査：入居にあたり、審査があります。

<次回募集>

原則として3ヶ月毎に入居者審査会を開催しています。

今回は10月末日までに事業計画書を提出された方を対象に、11月中旬に審査会の開催を予定しています。

(参考)【入居可能研究室】

研究室大 (50m²) : 6 室

研究室小 (25m²) : 2 室

試作開発室 (100m²) : 4 室

<お問い合わせ>

岡山リサーチパークインキュベーションセンター

TEL : 086-286-9116

FAX : 086-286-9117

E-Mail : info@oric.ne.jp

詳細はORICホームページをご覧ください。



<http://www.oric.ne.jp>